

# 私の博物誌

題字 石川進

## 第二十九回 「一石五鳥② 青磁」

玉の如く白く、玉の如く碧くが中国の陶器に深く関わる意識であることを読んだ記憶がある。東洋館での青磁の展示は、書友Y氏によって知らされた。科学博物館を覗いた足で未だ降り続けている雨の中を東洋館へ向かったのだ。

数年ぶりにリニューアルの成った館内は予想に反して静かだ。雨の午後のせいもあり人も少なく、真剣にものを鑑みるには好条件に恵まれた。青磁とは思えない原始の姿や色を留めたものから、典型といえるもの、世界に残るのは百点に満たないものから、黄金色ながら青磁と呼ぶものなど、見ることに集中した。

図録は作られなかったことを知り、少し失望したが、エレベーターを使って、いつもそうするように四階へ昇った。記憶の糸を手繰り寄せながら青磁の色を記すことは困難なのだが先へ行こう。

青磁四耳壺、高さ二十六・四センチ程の壺は、唐代以前の作で、永く東大寺で丁字

香を入れるために使用されたとの説明があり、釉薬の色は青とは彼岸の、深い煌きのある黄土色の奥に青の匂いを思う程度だが、大きな存在感を示す。

五代から北宋代（九〇七〜九六〇）頃の作になる秘色青磁がある。「ヒソクセイジ」と呼ぶのが慣例になっているのだが、現代人がいう「ヒシヨク」でも良いようだ。

陝西省法門寺から二十世紀末に発見された一群の青磁をして「秘色青磁」と確定したとの記事を、中国の出版物で知り、少し遅れて、日本のテレビ局でも放映している。

耀州窯の青磁、特徴的なのは、器の内外に、エッジの立った片切彫りの文様（印花文）を施し、深みのあるオリブグリーン（釉薬をたつぷりと掛けている。彫りの深い所には厚く、浅い部分には、薄くかかった釉は、実に美しいグラデーションを表出し独自の雰囲気醸す。

青磁花鉢（南宋官窯）の作として伝わる

深鉢で、見事な特徴として大きな貫入が縦横に走り、その間に氷裂貫入も表れている。その複雑な美しさが傑作といわれる所以だ。

汝窯の作になる青磁水盤は、径十五〜十六センチ。見込みの深さは二・五センチ程の日本に在る数少ない作品の一つのこと。小さく単調な器形だが、青磁の発色は素晴らしいものだ。

青磁の色は染付（青花）や、赤絵などのように発色させるための呈色材を使わない。器胎内に含まれる微量の鉄分が、還元焼成により酸素を奪われて青味を呈し、ガラス質の釉薬も青味を帯びる。そして細かな気泡は封じ込められ、乱反射をすることで深い釉調として定着する。胎土の鉄分量により、それぞれ明暗を分ける発色になるのだという。



青磁輪花鉢＝南宋官窯 南宋時代（1127～1279年）径26.1cm 東京国立博物館【重要文化財】

青磁瓶Ⅱ南宋官窯 南宋時代（一一二七〜二七九年）高二十一・六センチ 常盤山文庫



米色青磁（南宋官窯）の作になる貫入のある金色に光る青磁もある。これは同じ呈色材を使い、本来の還元ではなく酸化焼成で仕上げた結果の産物という。話は変わるが、これ等、先達の偉業に追いつこうと真剣に青磁と対峙する日本の現代陶芸家も澤山居られる。

この特別展と同時期頃、茨城県・笠間の県立陶芸美術館で開催された「現代陶芸現象」には日本の若手の俊才の手になる秀作が並び、数点の見事な作品を目にした。

古渡りの古い故に良いものと、新しいが故に斬新な風を吹き放つ現代作家との、どちらも説得力の大きな展覧会だったと思う。

現代陶芸の世界には確信に満ちたオーラがある。



書いている人



石川進

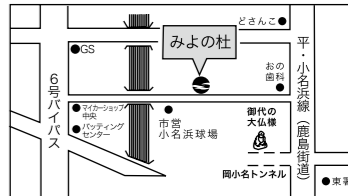
いしかわ・すすむ

一九四二年、いわき市平生生まれ。石川紋店代表。家業のかたわら、幼少から書に親しむ。書の世界で培った点・線・面と墨・紙・水の生理を追求し、石刻による印とのコラボによる抽象、具象の絵画表現を展開。書学書道史学会会員、書法探求顧問

心かよう絆を大切にしたい…。 御代の大仏様のおひざ元



仏式・神式・キリスト教式・生花・花輪・祭壇ホール・(大)800名様以上(中)300名様以上(小)300名様まで  
バス送迎・霊柩車・霊安室設備・法要膳  
予算及び自宅葬の御相談承ります。



住所：いわき市鹿島町御代字赤坂22-1  
年中無休・24時間受付

メモリアルホール  
**みよの杜**

TEL.76-0202



KAMOME CLINIC

虎の門病院医師ネットワーク会員

人工透析施設

医療法人 **かもめクリニック**

理事長 金田 浩

かもめ・みなとみらいクリニック

横浜市西区みなとみらい3-6-3MMパークビル3F TEL.045-228-2212

かもめクリニック

いわき市草木台5-8 TEL.0246-28-1010

かもめ・大津港クリニック

北茨城市大津町北町字深田432-1 TEL.0293-46-0133

かもめ・日立クリニック

日立市東滑川町1丁目3186 TEL.0294-25-1531